

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2016年4月8日から2020年2月19日まで	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時(原則として毎年4月12日及び10月12日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準及び市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり／限定追加型) (愛称:ザ・大企業16-04)

第6期 運用報告書(全体版)

決算日 2019年4月12日

■投資者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり／限定追加型) (愛称:ザ・大企業16-04)」は、2019年4月12日に第6期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

〈お問い合わせ先〉

電話番号: 03-5156-5108

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

<https://funds.dws.com/jp/>

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分 配 金 騰 落 中 率			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	配 金	騰 落 中 率		
	円		円	%	%	百万円
2期(2017年4月12日)	10,374		30	1.5	91.9	2,106
3期(2017年10月12日)	10,535		30	1.8	93.9	1,691
4期(2018年4月12日)	10,514		30	0.1	97.3	1,428
5期(2018年10月12日)	10,444		30	△0.4	96.9	1,190
6期(2019年4月12日)	10,417		30	0.0	96.9	1,010

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは、ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドへの投資を通じて、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

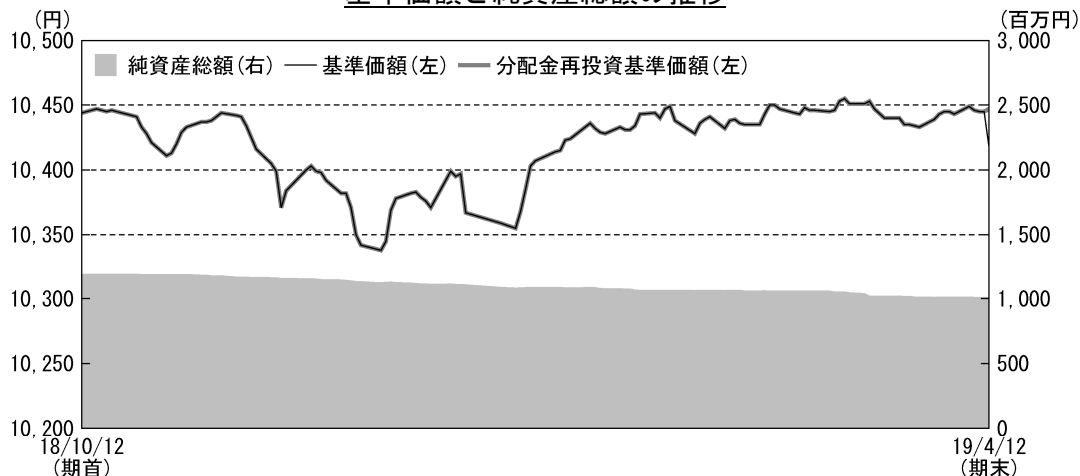
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2018年10月12日	10,444		—		96.9
10月末	10,420		△0.2		94.4
11月末	10,392		△0.5		95.6
12月末	10,367		△0.7		95.1
2019年1月末	10,434		△0.1		95.4
2月末	10,450		0.1		98.7
3月末	10,433		△0.1		97.7
(期 末)					
2019年4月12日	10,447		0.0		96.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

基準価額と純資産総額の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。ただし、上記対象期間中の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において10,417円(分配落后)となり、分配金込みでは前期末比ほぼ横ばいとなりました。当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。相対的に高い利回りに対する需要を背景に市場へ資金が流入したことや、保有債券の金利収入がファンドのパフォーマンスを下支え、基準価額の上昇にプラスに働きました。一方で、信託報酬等がマイナスに影響しました。

◆投資環境

当期では、主要な指標となる米国やドイツの10年国債利回り(長期金利*)は低下しました(価格は上昇)。世界景気に対する減速懸念が強まったことや、主要中央銀行が金融正常化に慎重になり、ハト派的な政策スタンスに方針転換したこと等を受けて、長期金利は低下しました。コーポレート・ハイブリッド証券市場では、相対的に高い利回りに対する需要の継続を背景とした資金流入に加えて、金利収入が市場の下支え要因となり、トータルリターンはプラスとなりました。為替市場では、製造業を中心としたユーロ圏内の景気指標の悪化や、米中貿易交渉の長期化、英国の欧州連合(EU)離脱動向等が市場の懸念材料として残存したこと等を受けて、円買いが優勢となり、ユーロは円に対して下落しました。

◆運用状況

(当ファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

(ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド)

当ファンドでは当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

期末時点のポートフォリオについては、通貨別ではユーロの配分を多めとし、国別では、フランス、イタリア、オランダ等の主要国への配分を高めとしました。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

◆収益分配金

基準価額水準等を勘案して、30円(税引前)といたしました。なお、留保された収益金につきましては、当ファンドの運用の基本方針に基づき運用させていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 6 期
	2018年10月13日～ 2019年4月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	30 0.287%
当期の収益	30
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	860

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針

(当ファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

(ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド)

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

米国では、米連邦準備制度理事会(FRB)がハト派姿勢に転換したことや、世界的な景気減速への警戒を背景とした市場のリスク回避姿勢から、目先の長期金利は一段の低下余地を探ると見えています。しかしながら、米国経済は減速しながらも概ね良好な経済環境を維持すると見ており、中長期的には長期金利は反発し、緩やかに上昇することも想定されます。欧州では、欧州中央銀行(ECB)による金融政策のスタンスの変化等を受けて、金利水準は引き続き低位で推移するものと見込まれます。また、欧州の景気減速が警戒される中、主要経済指標動向にも市場は左右されると考えています。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、米中貿易問題や英国のEU離脱を巡る不透明感が引き続き市場の重石になる可能性があります。一方で、FRBやECBのハト派化姿勢を受けて国債の利回りが大幅に低下し、ドイツの長期金利は3月末にマイナス圏に低下したこと等を踏まえ、コーポレート・ハイブリッド証券の相対的に高い利回りへの需要が高まると考えられます。また、世界的にも緩やかな景気回復が続くと予想されることを踏まえ、コーポレート・ハイブリッド証券市場は堅調推移を見込んでいます。

運用方針としては、引き続き、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券への投資を継続し、安定した収益の確保を目指す方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年10月13日～2019年4月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 72	% 0.689	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(36)	(0.350)	委託した資金の運用等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	8	0.072	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.020)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用 ・ 印 刷 費 用 等)	(5)	(0.052)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用や運用報告書の作成に係る費用等
合 計	80	0.761	
期中の平均基準価額は、10,416円です。			

(注1) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 監査費用・印刷費用等にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

○売買及び取引の状況

(2018年10月13日～2019年4月12日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド	千口 43,261	千円 49,230	千口 156,828	千円 177,778

(注) 単位未満は切捨て。

○マザーファンドにおける主要な売買銘柄

(2018年10月13日～2019年4月12日)

●ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド

公社債

買		付	売		付
銘柄	金額		銘柄	金額	
BATSLN 6.375% 12/12/19(イギリス)	75,101	千円	ANNGR FRN 04/08/74(ユーロ・オランダ)	77,166	千円
GE 5.375% 01/23/20(ユーロ・アイルランド)	52,754		VLVY FRN 06/10/75(ユーロ・その他)	26,938	
VATFAL 6.125% 12/16/19(イギリス)	45,070		EDF FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	13,467	
GM 3.15% 01/15/20(アメリカ)	44,762		ENELIM FRN 01/15/75(ユーロ・イタリア)	13,178	
F 2.681% 01/09/20(アメリカ)	44,547		TELEFO FRN PERPETUAL(ユーロ・オランダ)	13,167	
ENGIFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	37,925		ENGIFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	13,089	
VW 2% 01/14/20(ユーロ・オランダ)	25,468		ISSDC 1.125% 01/09/20(ユーロ・その他)	12,809	
ETLFP 2.625% 01/13/20(ユーロ・フランス)	25,283				
IMBLN 5% 12/02/19(ユーロ・その他)	13,040				
TELEFO FRN PERPETUAL(ユーロ・オランダ)	12,817				

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月13日～2019年4月12日)

利害関係人との取引状況

<ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり/限定追加型)>

該当事項はございません。

<ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
公社債	402	13	3.2	169	13	7.7

平均保有割合 51.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年10月13日～2019年4月12日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年10月13日～2019年4月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2019年4月12日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド	1,022,851	909,285	1,038,858

(注)単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年4月12日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド	1,038,858	100.0
コール・ローン等、その他	363	0.0
投資信託財産総額	1,039,221	100.0

(注1)評価額の単位未満は切捨て。

(注2)ドイツ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(2,013,991千円)の投資信託財産総額(2,023,991千円)に対する比率は99.5%です。

(注3)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年4月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.80円、1ユーロ=126.16円、1英ポンド=145.98円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年4月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,200,253,455
トクエ・グローバル・リート・ハイブリッド・ボンド・マザーファンド(閉鎖)	1,038,858,566
未収入金	1,161,394,889
(B) 負債	1,189,469,351
未払金	1,178,403,396
未払収益分配金	2,910,927
未払信託報酬	7,604,957
その他未払費用	550,071
(C) 純資産総額(A-B)	1,010,784,104
元本	970,309,199
次期繰越損益金	40,474,905
(D) 受益権総口数	970,309,199口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,417円

〈注記事項〉

期首元本額	1,139,992,103円
期中追加設定元本額	667,218円
期中一部解約元本額	170,350,122円

○損益の状況 (2018年10月13日～2019年4月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 78
支払利息	△ 78
(B) 有価証券売買損益	8,019,315
売買益	67,496,443
売買損	△59,477,128
(C) 信託報酬等	△ 8,165,828
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 146,591
(E) 前期繰越損益金	42,261,830
(F) 追加信託差損益金	1,270,593
(配当等相当額)	(1,183,644)
(売買損益相当額)	(86,949)
(G) 計(D+E+F)	43,385,832
(H) 収益分配金	△ 2,910,927
次期繰越損益金(G+H)	40,474,905
追加信託差損益金	1,270,593
(配当等相当額)	(1,185,059)
(売買損益相当額)	(85,534)
分配準備積立金	82,316,265
繰越損益金	△43,111,953

(注1) (A)配当等収益—支払利息にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

(注2) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みません。

(注3) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注4) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○分配金の計算過程

(2018年10月13日～2019年4月12日)

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	12,012,023円
b. 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
c. 信託約款に定める収益調整金	1,185,059
d. 信託約款に定める分配準備積立金	73,215,169
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	86,412,251
f. 分配対象収益(1万口当たり)	890
g. 分配金	2,910,927
h. 分配金(1万口当たり)	30

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	30円
-----------------	-----

(注1) 分配金をお支払いする場合

分配金のお支払いは、原則として決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

(注2) 分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、税引後みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

* 個人受益者が受取る普通分配金については、原則として20% (所得税15%、地方税5%) の税率で源泉徴収されます。(法人受益者の場合は税制が異なります。)

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%) の税率が適用されます。

* 少額投資非課税制度「愛称：N I S A (ニーサ)」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方となります。また、20歳未満の方を対象とした「ジュニアN I S A」をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります(ただし、対象者が18歳になるまでは払出し制限があります。)。詳しくは、販売会社にお問合せ下さい。

* 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

* 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更されることがあります。

* 課税上の取扱いの詳細については、税務専門家または税務署にご確認下さい。

<お知らせ>

- ・当ファンドは、予定通り2020年2月19日をもちまして信託期間が満了し償還となる予定です。

ドイチェ・グローバル・コーポレート・ ハイブリッド・ボンド・マザーファンド

運用報告書

《第3期》

決算日：2018年10月12日

(計算期間：2017年10月13日～2018年10月12日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

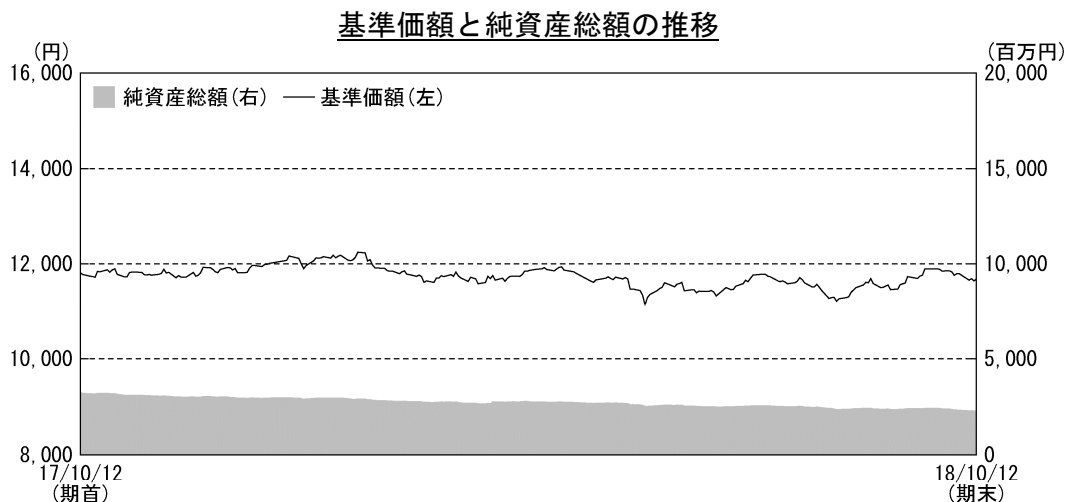
決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		百万円
2016年2月19日	10,000		—	—	2,615
1期(2016年10月12日)	9,713	△	2.9	96.2	5,451
2期(2017年10月12日)	11,812		21.6	92.5	3,281
3期(2018年10月12日)	11,680	△	1.1	96.6	2,314

(注)当ファンドは、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行うことを基本としております。そのため、ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在せず、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2017年10月12日	11,812		—		92.5
10月末	11,727		△0.7		97.0
11月末	11,817		0.0		94.8
12月末	12,020		1.8		96.4
2018年1月末	12,084		2.3		96.5
2月末	11,733		△0.7		95.3
3月末	11,658		△1.3		92.9
4月末	11,869		0.5		93.7
5月末	11,296		△4.4		96.8
6月末	11,373		△3.7		96.6
7月末	11,636		△1.5		96.2
8月末	11,588		△1.9		96.9
9月末	11,850		0.3		96.4
(期 末)					
2018年10月12日	11,680		△1.1		96.6

(注)騰落率は期首比です。



◆基準価額

当ファンドの基準価額は期末において11,680円となり、前期末比1.1%下落しました。

当ファンドは、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。保有債券の相対的に高い金利収入がファンドのパフォーマンスを下支えしましたが、主要地域における貿易摩擦問題や欧州政治不安等を受けて、リスク回避的な動きが継続したことが、基準価額の下落に影響しました。

◆投資環境

当期では、主要な指標となる米国やドイツの10年国債利回り(長期金利*)は上昇しました(価格は下落)。米国では、堅調な企業業績や良好な経済指標の発表に加えて、米連邦準備制度理事会(FRB)による着実な利上げを受けて、金利は上昇基調となりました。欧州では、地政学及び政治リスク等に加えて、主要国の通商政策動向における緊張の高まり等を背景に、長期金利が低下する局面もありましたが、世界景気の回復基調等が、長期金利の上昇要因となりました。コーポレート・ハイブリッド証券市場では、相対的に高い利回りに対する需要の継続を背景とした資金流入や金利収入が市場の下支え要因となりましたが、リスク回避的な動きが強まった局面での下落基調を受けて、トータルリターンはマイナスとなりました。為替市場では、主要地域の貿易摩擦問題や新興国景気に対する懸念に加えて、ユーロ圏の政治リスク等が材料視され、リスク回避的な動きが強まったこと等を背景に、ユーロは円に対して下落しました。

◆運用状況

当ファンドでは当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

当ファンドは、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券を対象に投資を行いました。期末時点のポートフォリオについては、通貨別ではユーロの配分を多めとし、国別では、フランス、オランダ等の主要国への配分を高めとしました。

◆今後の運用方針

当ファンドでは引き続き当初の運用方針通り、主に世界各国の企業が発行するハイブリッド証券(劣後債及び優先証券等)に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

米国では、巡航速度を上回るペースで経済が拡大し、FRBは9月に利上げを決定するなど、金融政策の正常化を着実に進めており、長期金利は正常化に伴い緩やかな上昇が予想されます。また、2020年に利上げを停止する見通しが示されていますが、利上げ停止に至るまで政策金利がどういった経路を辿るかも注目材料になると見えています。欧州でも、年末にかけた欧州中央銀行(ECB)の資産購入プログラムの停止に伴い、長期金利の上昇を予想していますが、イタリアの財政問題や英国の欧州連合(EU)離脱協議に対する警戒感を背景に、ある程度金利上昇が抑制されることが見込まれます。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、引き続き米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱交渉の不透明感が懸念されますが、10月以降は社債市場における起債の減少や、水準が切り上がった利回りへの需要が強まると予想され、堅調推移を見込んでいます。また、新興国市場への過度な懸念の後退から、市場心理が改善傾向にあることもプラス材料になると見えています。中長期的には、米国を中心とする企業業績の改善がコーポレート・ハイブリッド証券市場を下支えするものと見られます。

運用方針としましては、引き続き、世界各国の企業が発行するハイブリッド証券への投資を継続し、安定した収益の確保を目指す方針です。

*金利：債券価格は金利変動の影響を受けます。一般的に金利が低下した場合には債券価格は上昇し、逆に金利が上昇した場合には債券価格は下落する傾向があります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 3 (3)	% 0.028 (0.026)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 証券投資信託管理事務等に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	
合 計	3	0.028	
期中の平均基準価額は、11,720円です。			

(注1) 期中において発生した費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a) その他費用は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) (a) その他費用(その他)にはマイナス金利に係る費用等を含みます。

○売買及び取引の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

公社債

			買 付 額	売 付 額	
外 国	アメリカ	社債券	千米ドル	千米ドル	
			—	200 (200)	
	ユーロ	社債券	千ユーロ	千ユーロ	
			ドイツ	313	—
			イタリア	925	267
			フランス	2,094	940 (100)
			オランダ	918	1,022 (2,000)
			ベルギー	206	—
			オーストリア	—	— (1,100)
			ルクセンブルグ	—	115
			アイルランド	108	—
			その他	特殊債券	—
		社債券	1,242	1,145 (2,000)	
	イギリス	社債券	千英ポンド 416	千英ポンド — (700)	

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

○主要な売買銘柄

(2017年10月13日～2018年10月12日)

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
FIREIT 1.125% 01/02/20(ユーロ・イタリア)	80,258	ORSTED FRN 07/08/13(ユーロ・その他)	92,882
ENGIFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	78,966	NGGLN FRN 06/18/76(ユーロ・その他)	54,785
VLVY FRN 06/10/75(ユーロ・その他)	70,700	ENGIFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	52,804
ANNGR FRN 04/08/74(ユーロ・オランダ)	66,603	VW FRN PERPETUAL(ユーロ・オランダ)	51,566
RWE FRN PERPETUAL(イギリス)	60,161	EDF FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	42,575
ORAFP FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	55,967	ENELIM FRN 01/15/75(ユーロ・イタリア)	35,569
EDF FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	54,713	AMXLMM FRN 09/06/73(ユーロ・その他)	27,907
VW FRN PERPETUAL(ユーロ・オランダ)	51,295	ANNGR FRN 04/08/74(ユーロ・オランダ)	27,467
BAYNGR FRN 07/01/75(ユーロ・ドイツ)	41,454	VLVY FRN 06/10/75(ユーロ・その他)	27,390
SOLBBB FRN PERPETUAL(ユーロ・フランス)	41,404	CKHH FRN PERPETUAL(ユーロ・その他)	27,096

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年10月13日～2018年10月12日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	$\frac{B}{A}$ %		百万円	$\frac{D}{C}$ %
公社債	817	25	3.1	573	27	4.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、DEUTSCHE BANK AG、ドイツ証券です。

○組入資産の明細

(2018年10月12日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	600	612	79,633	3.4	—	3.4	—	—
イタリア	2,100	2,172	282,634	12.2	—	8.8	—	3.4
フランス	5,400	5,594	727,904	31.4	6.4	30.3	—	1.2
オランダ	2,700	2,763	359,643	15.5	6.4	15.5	—	—
ベルギー	400	408	53,208	2.3	—	2.3	—	—
アイルランド	500	527	68,590	3.0	—	3.0	—	—
その他	2,900	2,969	386,400	16.7	6.3	13.3	—	3.4
イギリス	千英ポンド 1,800	千英ポンド 1,865	277,064	12.0	3.3	12.0	—	—
合 計	—	—	2,235,079	96.6	22.4	88.6	—	8.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ユーロ							
ドイツ	普通社債券	BAYNGR FRN 07/01/75	3.0	600	612	79,633	2075/7/1
イタリア	普通社債券	ENELIM FRN 01/15/75	5.0	1,500	1,565	203,660	2075/1/15
		FIREIT 1.125% 01/02/20	1.125	600	606	78,973	2020/1/2
フランス	普通社債券	AKEFP FRN PERPETUAL	4.75	400	426	55,503	—
		EDF FRN PERPETUAL	4.25	1,600	1,667	217,008	—
		ENGIFP FRN PERPETUAL	3.0	900	912	118,747	—
		ETLFP 2.625% 01/13/20	2.625	200	204	26,658	2020/1/13
		ORAFP FRN PERPETUAL	4.25	1,500	1,565	203,641	—
		SEVFP FRN PERPETUAL	3.0	100	102	13,401	—
オランダ	普通社債券	SOLBBB FRN PERPETUAL	4.199	700	714	92,942	—
		ANNGR FRN 04/08/74	4.625	1,600	1,628	211,918	2074/4/8
		TELEFO FRN PERPETUAL	4.2	1,000	1,030	134,082	—
ベルギー	普通社債券	TELEFO FRN PERPETUAL	5.0	100	104	13,642	—
		KBCBB FRN 11/25/24	2.375	400	408	53,208	2024/11/25
アイルランド	普通社債券	ZURNVX FRN 07/24/39	7.5	500	527	68,590	2039/7/24
その他	普通社債券	ABBV 0.375% 11/18/19	0.375	200	200	26,128	2019/11/18
		CCE 2% 12/05/19	2.0	200	203	26,500	2019/12/5
		HSBC FRN 01/10/24	3.375	600	604	78,657	2024/1/10
		ISSDC 1.125% 01/09/20	1.125	200	202	26,319	2020/1/9
		NGGLN FRN 06/18/76	4.25	200	211	27,486	2076/6/18
		ORGAU FRN 09/16/74	4.0	1,100	1,127	146,738	2074/9/16
		VLVY FRN 06/10/75	4.2	400	419	54,569	2075/6/10
小 計					1,958,014		
イギリス	普通社債券	AMXLM FRN 09/06/73	6.375	800	847	125,883	2073/9/6
		ENGIFP FRN PERPETUAL	4.625	500	503	74,811	—
		RWE FRN PERPETUAL	7.0	400	406	60,416	—
		TELEFO FRN PERPETUAL	6.75	100	107	15,953	—
小 計					277,064		
合 計					2,235,079		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2018年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,235,079	% 96.6
コール・ローン等、その他	79,691	3.4
投資信託財産総額	2,314,770	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 期末における外貨建純資産(2,304,762千円)の投資信託財産総額(2,314,770千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年10月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=112.19円、1ユーロ=130.12円、1英ポンド=148.56円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年10月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,346,586,800
コール・ローン等	30,539,618
公社債(評価額)	2,235,079,264
未収入金	31,822,138
未収利息	43,629,296
前払費用	5,516,484
(B) 負債	31,838,026
未払金	31,837,999
未払利息	27
(C) 純資産総額(A-B)	2,314,748,774
元本	1,981,727,231
次期繰越損益金	333,021,543
(D) 受益権総口数	1,981,727,231口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,680円

〈注記事項〉

- ①期首元本額 2,778,269,389円
期中追加設定元本額 92,665,635円
期中一部解約元本額 889,207,793円
- ②当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・
ファンド 2016-02 (為替ヘッジあり/限定追加型) 958,875,340円
ドイチェ・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・ボンド・
ファンド 2016-04 (為替ヘッジあり/限定追加型) 1,022,851,891円

○損益の状況 (2017年10月13日～2018年10月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	114,253,849
受取利息	114,263,760
支払利息	△ 9,911
(B) 有価証券売買損益	△150,409,029
売買益	4,847,909
売買損	△155,256,938
(C) 保管費用等	△ 763,030
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 36,918,210
(E) 前期繰越損益金	503,525,133
(F) 追加信託差損益金	16,174,686
(G) 解約差損益金	△149,760,066
(H) 計(D+E+F+G)	333,021,543
次期繰越損益金(H)	333,021,543

- (注1) (A) 配当等収益－支払利息にはマイナス金利に係る費用等を含みます。
- (注2) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

- ・該当事項はございません。